

第4回定例会のご報告

12月19日、市会第4回定例会は、35件の市長提出議案と、2件の議員提出の議案を賛成多数で可決し、閉会しました。日本共産党市議団は、カジノ誘致の撤回、中学校給食の実現を提案。「貧困ビジネス」を公認する無料低額宿泊所条例の制定や、低所得者に冷たい市営住宅の入居保証金の1.5倍化など反市民的な議案には反対しました。

- 左から●北谷まり(保土ヶ谷区) ●みわ智恵美(港南区) ●白井まさ子(港北区) ●古谷やすひこ(鶴見区) ●宇佐美さやか(神奈川区) ●あらき由美子(南区) ●大貫憲夫(青葉区) ●かわじ民夫(旭区) ●岩崎ひろし(戸塚区)

カジノの是非を問う



カジノの負の影響に 林市長が責任を持てるはずがない

IRカジノ誘致撤回をもとめて市長を追及

党市議団は、カジノ売り上げの6割がギャンブル依存症患者のかけ金が占めているオーストラリアIRの調査結果を示して、ギャンブル依存症製造装置ともいえるカジノの誘致撤回を林市長に迫りました。

シンガポール IR は外国人が対象で、日本型 IR と根本的に違う

市長がカジノ成功例として挙げているシンガポールの規制は、公権力による国民管理、監視という特別な環境があって成り立っているもので、基本的人権の尊重を憲法の原則とする日本では、到底考えられません。さらに、シンガポールのカジノ客のほとんどが外国人であり、そもそも日本人をターゲットにした日本型IRカジノとは全くの別物だと指摘。シンガポールを成功例として持ち上げることは、市民に誤解を与えるだけだと批判しました。

韓国カンウォンランド・カジノの惨状を直視せよ

10月に党市議団が視察した韓国で唯一自国民が入れる「カンウォンランド・カジノ」では、開業から20年間で、少年犯罪の増加や人口減など様々な社会問題が噴出し、周辺の地域は荒廃しており、カジノに依存すれば、街は壊れ、衰退するリスクが極めて大きいと警告しました。

シンガポールのIRカジノは外国人客が7割以上！日本型IRとは違います！



[シンガポールのIRカジノ マリーナベイ・サンズ]



[カンウォンランドカジノのある町]



[横浜スタジアム 球場面積 26,200平米]

林市長は、日本型IRは世界最高水準のカジノ規制が施されている、国や県、関係機関と連携して依存症、治安対策を検討していくなど、質問したことにまともに答えず、自論を繰り返すだけでした。市民の圧倒的な世論を示す時です。

住民投票の実現には、条例案に市内有権者の1/50(約6万人)以上の署名をつけて、市長に提出する必要がある。署名はスタートから2ヶ月間に限定され、登録された「署名サポーター(受任者)」しか集められません。「家族だけなら署名を集められる」という方もOK! まずはあなたも署名サポーターに登録してください。署名が集まっても市議会で賛成多数にならないければ住民投票条例は成立しません。市長と議会をつき動かす、条例成立への道を切りひらくために、議会や市長のリコールも可能になる50万人以上から署名を集めることを目指します。

5万人の署名サポーターで50万筆署名を目指します! (カジノの是非を決める横浜市民の会)

市民が力を合わせれば、カジノは止められます!

受任者のWEB登録はこちらから



- 署名サポーター(受任者)の登録
署名スタート(期間は2ヶ月間)
集まった署名を市長に提出
市議会で賛成多数をもって成立

住民投票が実現! 市民の声を聞かないならリコールへ